

本資料はプレスリリースであり、医薬品のプロモーションや宣伝広告を目的とするものではありません。

2022年5月9日
ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

「スプリセル錠 服薬手帳」LINE 公式アカウントの機能を拡充

グループトークと通院日通知の2つ機能を追加、患者の服薬管理サポートを強化

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社は、当社の「スプリセル錠 服薬手帳」LINE 公式アカウントの機能を拡充し、本日提供を開始しました。

「スプリセル錠 服薬手帳」LINE 公式アカウントは当社の抗悪性腫瘍剤「スプリセル（一般名：ダサチニブ水和物）」を服用する慢性骨髄性白血病患者向けに2020年12月に開設しました。検査情報や服薬状況などを自らのスマホ上に集約でき、服薬管理や医師と患者間のコミュニケーションを支援するツールとして活用されています。本日付で、患者と家族をつなぐ「グループトーク機能」、ならびに登録した通院日に通知が届く「通院日リマインド機能」を新たに追加し、患者の通院や服薬の管理サポートを強化するとともに、スプリセルの適正使用のさらなる推進を図ります。

新たに追加する機能は以下の通りです。

1. グループトーク機能

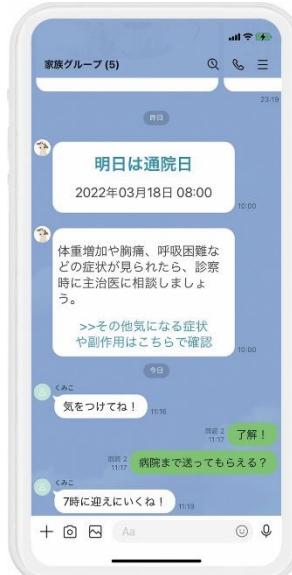
患者が家族やパートナーを招待してグループトークを作成可能。日常のコミュニケーションに加えて、トーク上に通院日の通知（「2」参照）も届くため、家族やパートナーがより的確に患者をサポートできるようになることが期待できます。

2. 通院日リマインド機能

登録した通院スケジュールをもとに、通院日にメッセージが届くため、通院忘れを支援します。

「スプリセル錠 服薬手帳」LINE 公式アカウントに関する詳細は、
以下をご参照ください。

<https://www.sprycel.jp/sprycel/line-info>



グループトーク画面（イメージ）

製薬業界においてもデジタルトランスフォーメーションが加速される中、ブリストル・マイヤーズ・スクイブは、患者や医療従事者向けのデジタルツールの開発を積極的に進めています。患者向けには「スプリセル錠 服薬手帳」LINE 公式アカウント、ならびに「エリキュース患者様専用アカウント」LINE 公式アカウントを開設しているほか、医療従事者向けには2020年8月に「BMS（医療従事者用）」LINE 公式アカウントを開設してがん領域を対象とした医薬品関連情報の提供を開始しました。2021年4月には血液がん、循環器、リウマチの3領域を対象に加え、当社が扱うすべての領域についての情報提供を開始しました。当社は今後もデジタルツールの開発を進め、製品適正使用のさらなる推進を目指します。

ブリストル・マイヤーズ・スクイブについて

ブリストル・マイヤーズ・スクイブは、深刻な病気を抱える患者さんを助けるための革新的な医薬品を開発し、提供することを使命とするグローバルバイオファーマ企業です。詳細は、bms.com/jp、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/bms-japan/)、[Facebook](https://www.facebook.com/BMSJapan)、[YouTube](https://www.youtube.com/user/BMSJapan)をご覧ください。